

ビッグスロットルボディーキット (φ 34) 取扱説明書

製品番号 03-05-0146

適応車種及びフレーム番号	Z125 PRO (BR125H-A02621 ~) Z125 PRO (タイ仕様)
対象シリンダーヘッド	ノーマルシリンダーヘッド

この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。
使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。
万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

- ◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。
- ◎当製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。
- ◎当製品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。
- ◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。
- ◎当製品は、上記適応車種、フレーム番号の車両専用用品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意下さい。
- ◎取り付けの際には、工具等を準備し、取付け要領に従って十分注意して作業を行って下さい。尚、この取扱説明書や純正サービスマニュアルは基本的な技能や知識を持った方を対象としております。取り付け等の経験の無い方、工具等の準備が不十分な方は、技術的信用のある専門店へご依頼されることをお勧め致します。
- ◎ボルト、ナットは再使用しますが、摩耗、損傷が激しいものは再使用せず、必ず新品のものをご使用下さい。
- ◎このパーツはクローズド競技用として開発した製品ですので、一般公道では使用しないで下さい。一般公道で使用する場合は、必ず道路運送車両法の保安基準を充たし、適法運転を心掛けて下さい。
(道路運送車両法の保安基準を充たさない車両で公道を走行すると、違反となり運転者が罰せられます。)
- ◎ノーマル排気量 + スポーツカム・S-Stage、ビッグスロットルボディーに対応した FI コン TYPE-e (インジェクションコントローラー) の別途購入が必要になります。

～特徴～

- ノーマル排気量 + スポーツカム・S-Stage に対応しています。ノーマルスロットルボディー使用時に対し全域で高出力化します。

注意 この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

- 作業等を行う際は、必ず冷間時 (エンジン及びマフラーが冷えている時) に行ってください。(火傷の原因となります。)
- 作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。(部品の破損、ケガの原因となります。)
- 規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行ってください。(ボルト及びナットの破損、脱落の原因となります。)
- 製品及びフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行ってください。(ケガの原因となります。)
- 走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みがないかを確認し緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行ってください。
(部品の脱落の原因となります。)
- ガスケット、パッキン類は、必ず新品部品を使用して下さい。また、再使用する部品については、よく点検し摩耗や損傷がある場合は、必ず新品部品と交換して下さい。
- エンジンの回転中は、スロットルボディー吸気管内を不用意に覗き込まないで下さい。(火炎が噴射することがあり、大変危険です。)

警告 この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- エンジンを回転させる場合は、必ず換気の良い場所で行ってください。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。
(一酸化炭素中毒になる恐れがあります。)
- 走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。(事故につながる恐れがあります。)
- 作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行ってください。(作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。)
- 点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。
(不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。)
- 点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行ってください。(事故につながる恐れがあります。)
- ガソリンは、非常に引火しやすい為、一切の火気を避け燃えやすい物が周りに無い事を確認して下さい。又、気化したガソリンの滞留は、爆発等の危険性がある為、通気の良い場所で作業を行ってください。
- 製品梱包のビニール袋は、幼児の手の届かない所に保管するか、廃棄処分して下さい。(幼児がかぶったりすると、窒息の恐れがあります。)

- ◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品及び価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。
- ◎クレームについては、材料及び加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後 1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。
但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。
なお、レース等でご使用の場合はいかなる場合もクレームは一切お受け致しません。予めご了承下さい。
- ◎この取扱説明書は、当製品を破棄されるまで保管下さいますようお願い致します。



番号	部品名	個数	リペア品番
1	スロットルボディ 34mm ASSY.	1	16400-BR1-T00
2	インレットパイプ	1	17111-BR1-T00
3	エアフィルター COMP.	1	17214-BR1-T00
4	シュラウドステー COMP.	1	15660-BR1-T00
5	Oリング 42mm	1	00-02-0405
6	Oリング 29mm	1	00-02-0406
7	アルミワッシャ 6.5x11x1	2	00-02-0095 (20ヶ入り)
8	ホースクランプ (9.5)	2	00-00-0216 (4ヶ入り)
9	ホースコネクター	1	00-00-0220
10	ユニオン M6	1	17112-BR1-T00
11	ソケットキャップスクリュー 6x6	1	00-00-0707 (5ヶ入り)
12	ソケットキャップスクリュー 6x22	2	00-00-0620 (10ヶ入り)
13	ソケットキャップスクリュー 6x20	2	00-00-0721 (5ヶ入り)
14	チューブ 5x125	1	00-07-0073 (長さ 500mm)

※リペアパーツは必ずリペア品番にてご注文下さい。
 品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。予めご了承下さい。
 尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注文下さいませ
 様お願い致します。

■取り付け要領 ※特に記載の無い細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

■はじめに

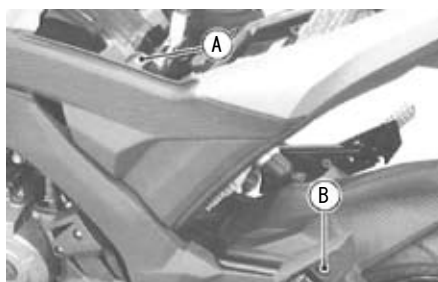
作業は水平で安全な場所で、メンテナンススタンドをかけるなどして、車両をしっかりと安定させてから開始して下さい。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。

本取説での外装部品取り外し作業内容は、詳細を省略した概要のみを記しております。
 外装取り外し作業に不慣れな方は、販売店等に作業を依頼するか、必ずメーカー純正サービスマニュアルの作業手順・締め付けトルクの指示に従い作業を行って下さい。また外装類の脱着時、爪部分や溝部分を破損しないように、注意深く作業を行って下さい。

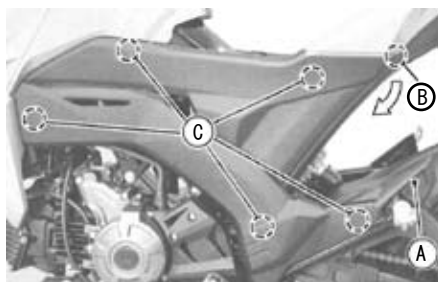
●サイド/フレームカバーの取り外し

○シートを取り外しスクリュー [A]、ボルト [B] を取り外します。

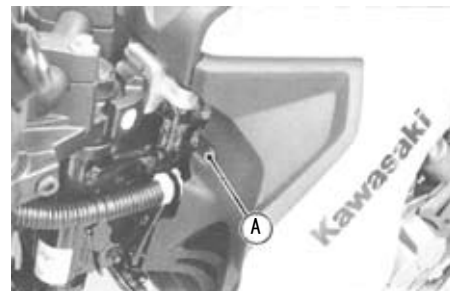


○サイド/フレームカバー [A] のフック [B] を外側に引いて外します。

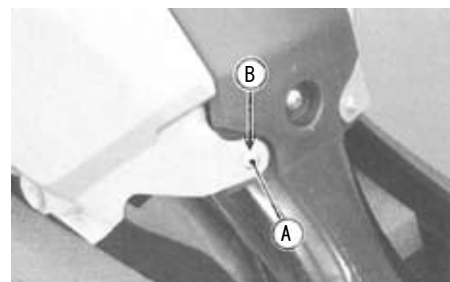
○サイド/フレームカバーを外側に引いて突起 [C] を外します。



○クイックリベット [A] を取り外します。

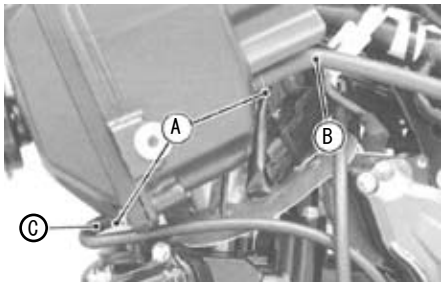


○スクリュー [A]、ワッシャ [B] を取り外します。

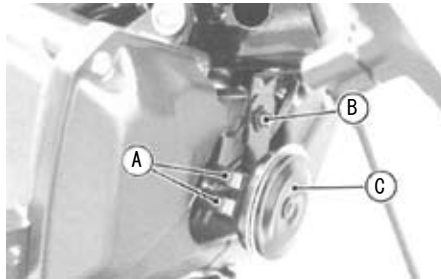


●エアクリーナハウジングの取り外し

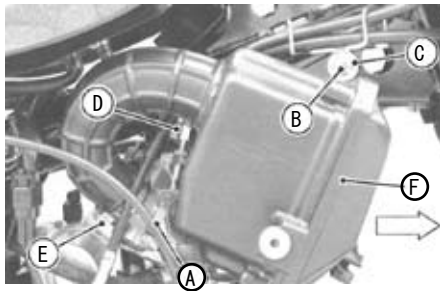
○クランプ [A] をずらしブリーザーホース [B]、ドレンホース [C] を外します。



○ホーンリード線コネクタ [A] を外し、ボルト [B]、ホーン [C] を取り外します。

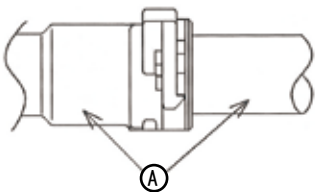


○クランプ [A]、取り付けスクリュ [B] (両側)、ワッシャ [C]、取り付けスクリュ [D]、スクリュ [E] を取り外し、エアクリーナハウジング [F] を前側へ取り外します。

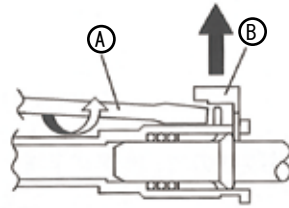


●スロットルボディの取り外し

○燃料ホースジョイントの周りに布を置き接続部周辺 [A] の汚れを拭き取ります。

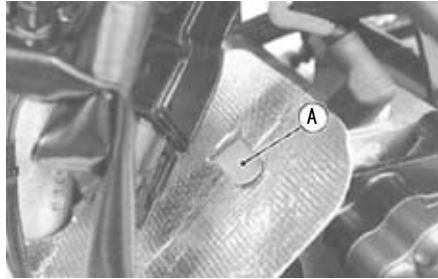


○マイナスドライバ [A] をジョイントロック [B] の溝に差し込みドライバを回してジョイントロックを外します。

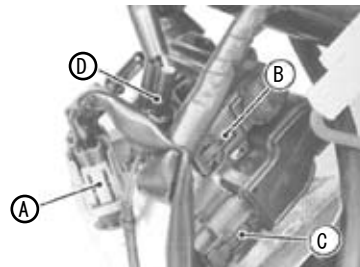


○パイプをビニール袋等で覆って汚れの付着を防いで下さい。

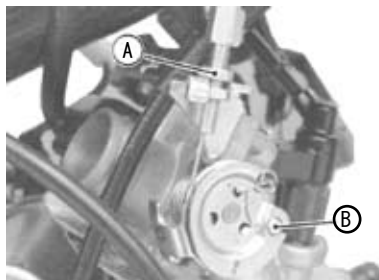
○クランプ [A] を曲げ戻します。



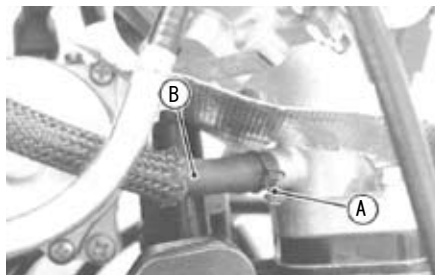
○燃料インジェクタコネクタ [A]、アイドルスピードコントロールバルブアクチュエータコネクタ [B]、スロットルボディアッセンサコネクタ [C]、エンジン温度センサーリード線コネクタ [D] を取り外します。



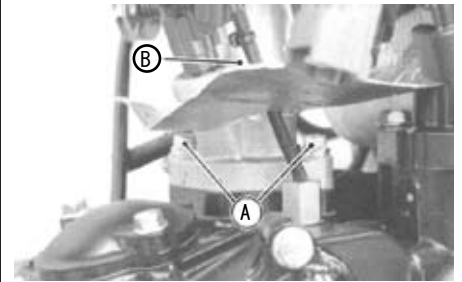
○ロックナット [A] を緩め、スロットルケーブル下端 [B] を取り外します。



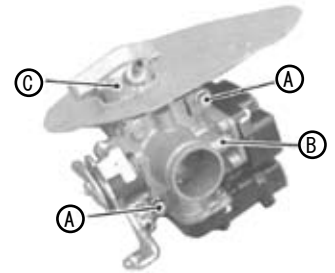
○クランプ [A] をずらしホース [B] を外します。
※タイ仕様車の場合、ホースがありませんので、この作業は必要ありません。



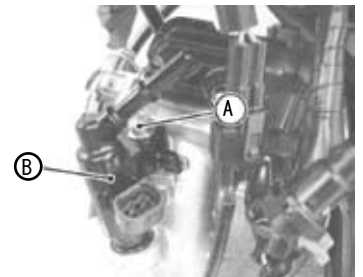
○ボルト [A] およびワッシャを取り外しスロットルボディアッセン [B] を取り外します。



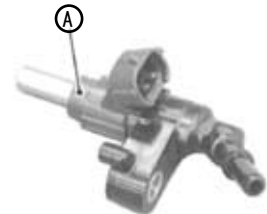
○ボルト [A] を取り外しスロットルボディアッセン [B] とインテークパイプ [C] を分離します。



○ボルト [A] を取り外しデリバリーパイプと燃料インジェクタを取り外します。



○ダストシール [A] を取り外します。



○取り外したダストシールは再利用しますが、損傷が有る場合は新品部品に交換して下さい。

■取り付け要領 ※特に記載の無い細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

●スロットルボディ、インレットパイプの組み立て、取り付け

○キット付属のインレットパイプに逆手順でノーマルから取り外したダストシール、インジェクター、デリバリパイプ、取り付けボルトを逆手順で組み付けます。
※デリバリパイプの突起をインレットパイプの溝に合わせて締め付けて下さい。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
突起

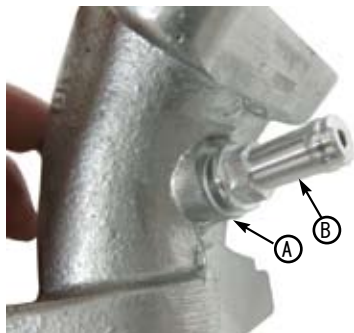
トルク：5.2N・m (0.53kgf・m)



○日本仕様車の場合、アルミワッシャ [A]、ユニオン [B] を取り付け規定トルクで締め付けます。
※ネジ部には中強度ネジロック剤を塗布して下さい。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
ユニオン

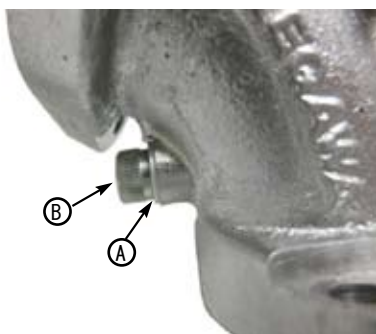
トルク：6.0N・m (0.6kgf・m)



○タイ仕様車の場合、アルミワッシャ [A]、スクリュー 6x6 [B] を取り付け規定トルクで締め付けます。
※ネジ部には中強度ネジロック剤を塗布して下さい。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
スクリュー 6x6

トルク：8.0N・m (0.8kgf・m)



○ノーマルのスロットルボディからアイドルスピードコントロールバルブアクチュエータ [A]、スロットルボディアッセンサ [B]、各 O リングを取り外します。



○ノーマルのスロットルボディからスロットルケーブルブレース [A] を取り外します。



○キット付属のスロットルボディに逆手順で各 O リング、アイドルスピードコントロールバルブアクチュエータ [A]、スロットルボディアッセンサ [B]、スロットルケーブルブレース [C] を組み付けます。



○スロットルボディに O リング 42mm [A] を取り付けます。



○スクリュー 6x20 を使用し、スロットルボディにインレットパイプを取り付けます。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
スクリュー 6x20
トルク：12N・m (1.2kgf・m)



○インレットパイプにキット付属の O リング 29mm [A] を取り付けます。



■取り付け要領 ※特に記載の無い細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

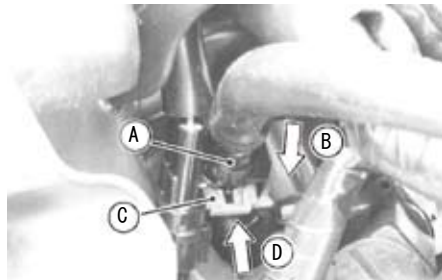
○スクリュー 6x22 を使用し、シリンダーヘッドにインレットパイプを取り付けます。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
スクリュー 6x22
トルク：12N・m (1.2kgf・m)

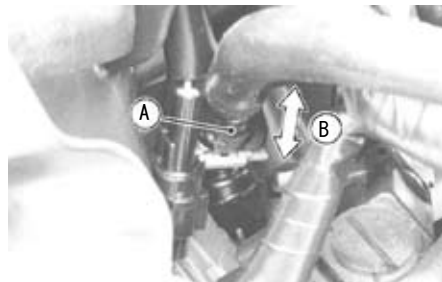


○取り外しの逆手順でアイドルスピードコントロールバルブアクチュエータ、スロットルボディアシセンサのカブラを接続します。

○燃料ホースジョイント [A] をデリバリパイプにまっすぐ挿入します。[B] ジョイントロック [C] をホースジョイントがカチッと入るまで押します。[D]



○燃料ホースジョイント [A] を 2 回以上押し引きしたり [B] 確実にロックが効いている事を確認して下さい。



⚠ 注意：燃料ホースジョイントを押し引きしたりするにはノズルアッシのデリバリパイプに力をかけ過ぎない様にして下さい。パイプは樹脂製なので損傷する可能性があります。

⚠ 警告：燃料は非常に引火性が強く、一定の条件下では火災や爆発の危険性があります。燃料を取り扱う時、あるいは給油する時は必ずエンジンを停止し火気厳禁で行って下さい。

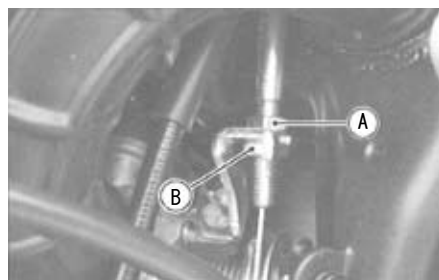
○スロットルケーブルにクランプを通しておきます。



○スロットルケーブルを取り付けます。



○スロットルケーブルの遊びの調整を行います。アッパナット [A] を緩めロアナット [B] を回してスロットルグリップの遊びを 2 ~ 3mm に調整し、アッパナットを締め付けます。ハンドルを左右いっぱい切りアイドリング回転数が変化しない事を確認します。



○ノーマルクラッチカバーをご使用の場合、エアフィルターとクラッチケーブルが干渉する為、画像を参考に取り回しを変更して下さい。



○ハンドルを左右いっぱい切りクラッチの動作に影響が無い事を確認します。

●エアフィルターの取り付け

○キット付属のエアフィルターを取り付けます。



○オイルキャッチタンクの取扱説明書を参考に各ホースを接続します。



●シラウドステーの取り付け

○純正ボルトを用いてシラウドステーを取り付けます。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
純正ボルト
トルク：5.2N・m (0.53kgf・m)



○ホーンの位置は画像を参考にして下さい。



○ワッシャ、クランプ、ボルトの順で取り付けます。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
ボルト
トルク：5.2N・m (0.53kgf・m)



●サイド/フレームカバーの取り付け

○取り外しの逆手順でサイド/フレームカバーを取り付けます。

●FI コン TYPE-e の取り付け

FI コン TYPE-e の取り扱い説明書に従いFI コン TYPE-e を取り付けます。

エンジンを始動し、十分に暖気を行いアイドリング回転数を標準値に調整します。
標準値 1500 ± 50 rpm

標準値から外れる場合はスロットルボディー下部のナットを緩め、ボルトを回し調整します。
※緩め方向 1/2 回転以上、締め方向 1 回転以上の調整が必要な場合、周辺部品の不具合が考えられます。カワサキ純正サービスマニュアルを参考に周辺部品の点検を行って下さい。



●スロットルセンサポジションデータの リセットおよび登録

スロットルセンサポジションデータのリセットおよび登録を行います。
各項目の記号は黄色エンジン警告灯 (LED) の状態を表しています。

○：点灯
□：点滅
●：消灯

1. イグニッションスイッチを OFF にします。●
2. 自己診断端子を手持ちのリード線を用いてフレームにアースします。●

※リード線はキットに含まれませんので各自ご用意下さい。



3. スロットルグリップを全開位置にします。●
4. スロットルグリップが全開位置のまま、イグニッションスイッチを ON にします。□
5. 5 秒間待ちます。□
6. スロットルグリップを全閉位置にします。□
7. 5 秒間待ちます。
8. 黄色エンジン警告灯 (LED) が点灯するとスロットルポジションセンサのリセットが完了です。○
※黄色エンジン警告灯 (LED) が点滅する場合はリセットに失敗していますので再度 1 から作業を行って下さい。
10. イグニッションスイッチを OFF にします。●
11. 自己診断端子をアースから外します。●
※スロットルグリップは操作しないで下さい。
12. イグニッションスイッチを ON にします。○
13. 5 秒間待ちます。○
14. イグニッションスイッチを OFF にします。●
15. 5 秒間待ちます。●

以上で終了です。

○各部を点検しボルト、ナットに緩みが無いか確認して下さい。